

会員建築作品紹介

日事連建築賞優秀賞受賞作品「まちの保育園」

鎌倉支部 宇賀 亮介



外 観



エントランス



内 観

3

○まちに開いた保育園

地域の人々や施設との連携、ギャラリーやカフェの併設を通して「まちの人」との交流を図る「街育」を実現する教育プログラムと地域コミュニティを提供する保育園の計画である。

○大人たちの対話の場として

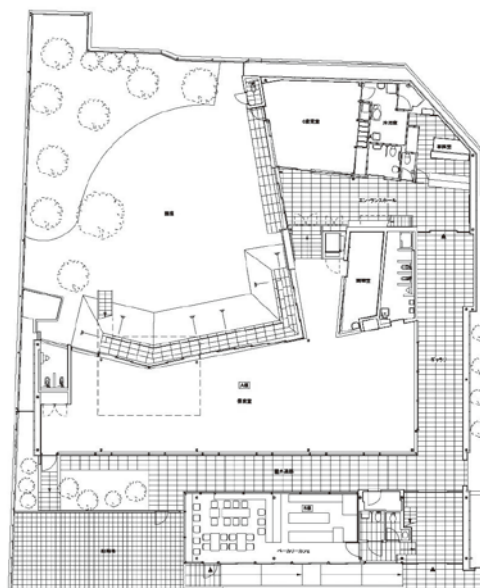
園児のために大人が成す毎日の対話の中に当園の保育の本質があるため、大人にとっても快適な空間である必要があった。木やレンガ、タイルを多用することで落ち着いた内装空間の形成を図るだけでなく、高低差のある床や折り天井、光庭、路地のようなギャラリーや屋外通路など多様な空間を提供し自分の居場所や対話の場を発見できるように配慮した。

○街育とセキュリティの両立

街に開くという保育方針と安全対策を両立することは重要な課題であった。保育室に対する緩衝エリアとして配置されるカフェと保育室の床レベルを街路から1m下げることによって室内の園児の様子が街路から視認されにくくすると同時に室内の什器なども見えなくなるため、街路から園庭への視線の抜けが確保され、園庭の木々が街路とカフェから見通せるように配慮している。

○住宅地の景観に対する配慮

規模の大きい保育園建物が住宅地の景観に溶け込めるように屋根形状は寄棟形式とし、建物及び屋根の分節化を図っている。建物高さを低くするために2階天井高は寄棟屋根の天井懐内を利用し、また道路側に面する部分は2階床との間に吹抜を設けることで視覚的に住宅地に馴染みやすい建物形状とした。



1階平面図